

（第4期中期目標・中期計画 前文より引用）

22年度の重点取り組み

- SDGsおよびSociety 5.0に象徴される現代社会の潮流を意識しつつ、**医療系総合大学の特色と強みを活かして**得られた教育・研究・臨床の成果を広く**社会に還元する**ことを第一の目標とする。
- 先導的な医療を担う**サイエンティフィック・クリニシャン**（科学的な視点で診療を**実践する医療人**）を育成する教育体系および環境を整備するとともに、医学研究を先導し牽引する**クリニシャン・サイエンティスト**（臨床的な視点をもった研究者）の**育成**に挑戦する。
- 「**トランスレーショナル・リサーチ**」に**焦点を当て**、学内の研究と臨床の連携を促進させる。次世代医療に 繋がる先進的かつ特色のある基礎・臨床研究を行い、**世界屈指の「トータル・ヘルスケア」研究の拠点確立**を目指す。
- 新型コロナウイルス感染症への対応経験を活かし、パンデミック等の**非常時の迅速かつ柔軟な医療**、および **先端的な研究を基盤とした平時の最高水準の診療の両立**を可能とする強靱な医療体制を構築する。
- 四大学連合**を含む産官学連携を活かし、首都圏における医学教育・研究・臨床のネットワークを拡充する。そこに集約される叡智の成果を広く国内外に提供・発信するべく「**トータル・ヘルスケア**」**拠点の機能を強化**する。
- 構成員が互いに「**多様性と包摂性**」を重視し、各自が多様な能力を高めつつ「**自律と協調**」を発揮することにより、**構成員の総力を挙げて未来社会の創造に貢献する大学運営**を行う。

臨床研究中核病院へ

若手研究者育成制度の実動

医工連携の拡大

医歯理工融合研究イノベーションセンターの創設

人事改革デザインの実動

学部・大学院

ポスドク・卒後 ～トップサイエンスインキュベータ構想～

若手研究者が集い競う場
次世代研究者育成ユニット

特別研究教員

独立!

第4期

令和3年度
令和2年度

研究実践プログラム
選択学部生

卓越大学院生

卓越大学院生制度

<指導体制>
重点研究領域の複数研究者

<経済支援>
・給付型奨学金(学振DC相当)
*専門診療と併用(報酬あり)
・海外留学支援

<指導体制>
トップ研究者

<経済支援>
研究費(若手相当)

<指導体制>
高等研究院内外トップ研究者

<経済支援>
雇用保証(3年)・研究費優先配分

<環境整備等>
研究スペース優先貸与 技術補佐員配置
大学院生指導資格付与

Clinician
Scientist

Young Investigator Support Center (YISC)

・研究環境整備支援
・キャリアアップ支援
・助成金申請支援

・海外フェローシップ情報の収集・提供
・海外フェローシップ申請支援
・奨学金相談・支援

包括的なキャリア支援!

研究実践プログラム
実施内容の見直し



研究実践プログラムの
全学展開の試行

博士課程の
選抜実施・支援開始



卓越大学院生制度の
準備・確立

海外Top研究者の選考
指導体制の整備



キャリア紹介

助成金申請支援

YISC準備室の設置



世代を超えて地球・人類の「トータル・ヘルスケア」を実現する

国立大学唯一の医療系総合大学として取り組む
～「知と癒しの匠」の創造による世界屈指のヘルスケア・サイエンス拠点の形成～

研究教育の卓越性 -医歯情報科学の国際拠点の形成-

研究力強化

◇重点研究領域研究の推進

コンソーシアム型研究体制
硬組織・口腔科学分野研究

◇先端医歯情報科学研究拠点の創成

◇トップサイエンスインキュベータ機能強化

◇「統合研究評価会議（仮称）」の設置 （高次元な研究戦略へと発展）

◇文理融合型研究の推進(大学間連携)

◇統合イノベーション機構(仮称)の設置

オープンイノベーション機構等の再編

◇産学官民連携を实践する空間と場の設置

社会課題解決に向けた産学官民連携共創

◇自治体・省庁連携

東京都等自治体との共同事業の継続・拡大

社会との連携

国際協働の推進

◇海外大学との 多層・実質的な連携

◇重要教育研究拠点 短中期滞在支援

◇教育・研修コンテンツを 用いた海外展開

◇“統合機構”の強化

◇発展型シンクタンクの構築

◇内部質保証と国際情報発信

ガバナンス強化

社会への貢献 -医療系研究型大学として社会の課題を解決-

「知と癒やしの匠」の創造と世界を牽引するヘルスケア・サイエンスの実践

人材育成・獲得

メディカルリサーチユニバーシティー人材育成モデルの確立

◇卓越したClinician Scientist育成システムの構築

Society5.0社会への貢献

◇世界をリードするMedical Data Scientistの育成

国内外からの優秀な学生・教員の獲得に向けて

◇教育・研究環境の訴求力の向上

◇寄附金等獲得体制の強化

統合イノベーション機構(仮称)による基金規模拡大

◇資産の有効活用による経営基盤の強化

◇データビジネス分野への展開

医歯学領域のビッグデータをビジネス展開

◇大学発ベンチャー企業の創出

財務基盤強化

成果目標

QS世界大学ランキング2019 (医学分野) Top100 (日本3位) → **Top50**

QS世界大学ランキング2019 (歯学分野) Top 10 (日本1位) → **Top 1**

**国際都市東京にある利点を活かし
医歯学研究領域で国内外のハブとなり
トータル・ヘルスケアを実現する**



**新しい
医学的脅威・課題
を克服する**



**新しい医療の
枠組みを創生する**

新しい医学・医療分野の開拓

トータルヘルスケア
戦略に基づく
研究力強化

トータルヘルスケア
を支える
人材の育成

Small Universityを活かした
医歯学と
関連分野の融合



次世代医学・医療
の研究・開発戦略



現在直面している問題
(COVID-19等)

将来対峙が必要となる問題
(パンデミック・飢餓・人口減少)